

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【公表番号】特表2005-515913(P2005-515913A)

【公表日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-021

【出願番号】特願2003-561895(P2003-561895)

【国際特許分類】

B 4 3 K 24/08 (2006.01)

B 4 3 K 3/00 (2006.01)

B 4 3 K 7/12 (2006.01)

B 4 3 K 23/008 (2006.01)

【F I】

B 4 3 K 24/08 A

B 4 3 K 3/00 F

B 4 3 K 7/12

B 4 3 K 23/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月23日(2006.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

筆記具であって、
チャンネルと、開口端部と、側面とを備えた軸と、
該軸の前記側面に配置されたアクチュエータ部材と、
 前記チャンネルに配置され、引っ込み位置と伸長位置との間で長手方向軸線に沿って移動可能な筆記要素と、
該筆記要素と関連した第1の係合部材と、
前記チャンネルと関連した第2の係合部材とを有し、
前記筆記要素が前記アクチュエータ部材に作動連結され、
前記筆記要素の少なくとも一部が弾性であり、
 前記筆記要素は、前記伸長位置に移動されたときに、前記長手方向軸線に対して実質的に直角な方向に撓み、
 前記筆記要素の弾性が、前記チャンネルに係合させ、前記筆記要素を前記伸長位置に保持するように、前記筆記要素を付勢し、
前記第1の係合部材が前記第2の係合部材に係合し、
前記第2の係合部材が前記チャンネルに形成された柵状突起である、
 筆記具。

【請求項2】

前記筆記要素は、前記筆記要素の弾性により筆記要素が付勢されて前記チャンネルに係合するように、曲げられる、請求項1記載の筆記具。

【請求項3】

前記第1の係合部材は爪である、請求項1記載の筆記具。

【請求項4】

筆記具であって、
チャンネルと、開口端部と、側面とを備えた軸と、
該軸の前記側面に配置されたアクチュエータ部材と、
前記チャンネルに配置され、引っ込み位置と伸長位置との間で長手方向軸線に沿って移動
することができる筆記要素と、
爪を備え、前記筆記要素と関連した第１の係合部材と、
前記チャンネルと関連した第２の係合部材とを有し、
前記筆記要素が前記アクチュエータ部材に作動連結され、
前記筆記要素の少なくとも一部が弾性であり、
前記筆記要素は、前記伸長位置に移動されたときに、前記長手方向軸線に対して実質的
に直角な方向に撓み、
前記筆記要素の弾性が、前記チャンネルに係合させ、前記筆記要素を前記伸長位置に保持
するように、前記筆記要素を付勢し、
前記第１の係合部材が前記第２の係合部材に係合し、
前記第２の係合部材が前記チャンネルに形成された棚状突起である、
筆記具。

【請求項５】

前記チャンネルに配置された、前記筆記要素の一部を受け入れるためのスリーブ部材を更
に有し、前記スリーブ部材は、前記筆記要素を前記伸長位置に保持するように、前記チャ
ネルに係合する、請求項１記載の筆記具。

【請求項６】

前記スリーブに配置された第１の係合部材を有する、請求項５記載の筆記具。

【請求項７】

前記筆記要素は、一体ばねであることを特徴とする請求項１記載の筆記具。

【請求項８】

筆記具であって、
開口端部と、閉鎖端部と、前記開口端部と前記閉鎖端部との間に延びるチャンネルとを備
えた軸と、
筆記端部を備えた筆記要素とを有し、該筆記要素が、前記チャンネルに配置され、且つ、
前記筆記端部が前記チャンネル内にある引っ込み位置と、前記筆記端部が前記開口端部を通
って前記開口端部の外に延びる伸長位置との間で、長手方向軸線に沿って移動することが
でき、
前記軸の側面に配置され、休止位置から解除位置に移動することができる解除部材と、
前記軸に形成されたグリップ要素とを有し、
前記筆記要素が、前記筆記要素を前記伸長位置に保持するように前記チャンネルに弾性的
に係合し、
前記筆記要素を前記長手方向軸線に対して実質的に直角な方向に移動させると、前記筆
記要素が前記チャンネルから係合を解かれて、前記筆記要素を前記引っ込み位置に戻し、
前記解除部材が前記グリップ要素の一部をなし、
前記解除部材を前記解除位置に動かすと、前記筆記要素が前記チャンネルから離脱される
。

筆記具。

【請求項９】

前記長手方向軸線と実質的に直角の方向への前記筆記要素の運動が、前記筆記要素を曲
げることにより引き起こされる、請求項８記載の筆記具。

【請求項１０】

前記筆記要素が弾性である、請求項８記載の筆記具。

【請求項１１】

前記解除部材を前記解除位置に移動することにより、前記筆記要素が前記長手方向軸線
に実質的に直角の方向に曲げられる、請求項８記載の筆記具。

【請求項 1 2】

前記筆記要素と関連した第 1 の係合部材を更に有し、前記第 1 の係合部材は、前記チャンネルに係合し、前記筆記要素を前記伸長位置に保持するように寸法形状決めされている、請求項 8 記載の筆記具。

【請求項 1 3】

前記解除部材の一部が、前記第 1 の係合部材に接触する、請求項 1 2 記載の筆記具。

【請求項 1 4】

前記解除部材の一部が、前記解除部材から間隔を隔てた位置で前記筆記要素に接触する、請求項 1 2 記載の筆記具。

【請求項 1 5】

前記解除部材が片持ちビームである、請求項 8 記載の筆記具。

【請求項 1 6】

前記解除部材の少なくとも一部を覆うグリップ要素を更に有する、請求項 8 記載の筆記具。

【請求項 1 7】

前記解除部材が前記軸に回動自在に結合されている、請求項 8 記載の筆記具。

【請求項 1 8】

前記チャンネルに配置された、前記筆記要素の一部を受け入れるためのスリーブ部材を更に有し、前記スリーブ部材は、前記筆記要素を前記伸長位置に保持するように、前記チャンネルに係合する、請求項 8 記載の筆記具。

【請求項 1 9】

前記スリーブ部材に配置された第 1 の係合部材を更に有する、請求項 1 8 記載の筆記具。

【請求項 2 0】

筆記具であって、

実質的に真っ直ぐな、長手方向のチャンネルと、筆記要素が長手方向軸線に沿って貫通することができる開口端部とを備えた軸と、

前記軸の側面に配置されたアクチュエータ部材とを有し、前記アクチュエータ部材は、前記アクチュエータ部材と前記開口端部との間に前記長手方向軸線に沿った第 1 の距離を構成する第 1 の位置と、前記アクチュエータ部材と前記軸の開口端部との間に長手方向軸線に沿った第 2 の長さを構成する第 2 の位置との間で移動することができ、前記第 2 の長さが前記第 1 の長さよりも短く、

前記アクチュエータ部材が前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間を非直線経路に沿って移動する、
筆記具。

【請求項 2 1】

前記アクチュエータ部材は、前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間を移動するときに、回動する、請求項 2 0 記載の筆記具。

【請求項 2 2】

前記アクチュエータ部材は、平らでない面に配置され、前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間で前記平らでない面に沿って摺動する、請求項 2 0 記載の筆記具。

【請求項 2 3】

前記平らでない面が凹状である、請求項 2 2 記載の筆記具。

【請求項 2 4】

前記チャンネルに配置され、引っ込み位置と伸長位置との間で移動することができる筆記要素を更に有し、

前記筆記要素は、前記アクチュエータ部材が前記第 1 の位置にあるとき、前記引っ込み位置にあり、前記アクチュエータ部材が前記第 2 の位置にあるとき、前記伸長位置にある、
請求項 2 0 記載の筆記具。

【請求項 25】

前記筆記要素が前記アクチュエータ部材に回動自在に結合されている、請求項 24 記載の筆記具。

【請求項 26】

前記チャンネルに配置された、前記筆記要素の一部を受け入れるためのスリーブ部材を更に有し、前記スリーブ部材は、前記アクチュエータ部材に回動自在に結合されている、請求項 20 記載の筆記具。

【請求項 27】

前記筆記要素は、前記伸長位置にあるとき、実質的に真っ直ぐな形態に戻る、請求項 1 記載の筆記具。

【請求項 28】

前記軸の側面に配置され、休止位置から解除位置に移動することができる解除部材を有し、

前記解除部材を前記解除位置に動かすと、前記筆記要素が前記チャンネルから係合を解かれる、

請求項 1 記載の筆記具。

【請求項 29】

前記筆記要素と関連し、且つ、前記チャンネルに係合し、前記筆記要素を前記伸長位置に保持するように寸法形状決めされた第 1 の係合部材を有し、

前記解除部材の一部が前記第 1 の係合部材に接触する、

請求項 28 記載の筆記具。

【請求項 30】

前記解除部材が片持ちビームである、請求項 28 記載の筆記具。

【請求項 31】

前記解除部材の少なくとも一部を覆うグリップ要素を更に有する、請求項 28 記載の筆記具。

【請求項 32】

前記解除部材が前記軸に回動自在に結合された、請求項 28 記載の筆記具。

【請求項 33】

前記チャンネルと関連した第 2 の係合部材とを有し、前記第 1 の係合部材が前記第 2 の係合部材に係合する、請求項 12 記載の筆記具。

【請求項 34】

筆記具であって、

実質的に真っ直ぐな、長手方向のチャンネルと、筆記要素が長手方向軸線に沿って貫通することができる開口端部とを備えた軸と、

前記軸の側面に配置されたアクチュエータ部材とを有し、前記アクチュエータ部材は、前記アクチュエータ部材と前記開口端部との間に前記長手方向軸線に沿った第 1 の距離を構成する第 1 の位置と、前記アクチュエータ部材と前記軸の開口端部との間に長手方向軸線に沿った第 2 の長さを構成する第 2 の位置との間で移動することができ、前記第 2 の長さが前記第 1 の長さよりも短く、

前記アクチュエータ部材が、平らでない面に配置され、前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間で前記平らでない面に沿って摺動する、

筆記具。

【請求項 35】

前記平らでない面が凹状である、請求項 34 記載の筆記具。

【請求項 36】

筆記具であって、

実質的に真っ直ぐな、長手方向のチャンネルと、筆記要素が長手方向軸線に沿って貫通することができる開口端部とを備えた軸と、

前記軸の側面に配置されたアクチュエータ部材とを有し、前記アクチュエータ部材は、

前記アクチュエータ部材と前記開口端部との間に前記長手方向軸線に沿った第 1 の距離を構成する第 1 の位置と、前記アクチュエータ部材と前記軸の開口端部との間に長手方向軸線に沿った第 2 の長さを構成する第 2 の位置との間で移動することができ、前記第 2 の長さが前記第 1 の長さよりも短く、

前記チャンネルに配置され、引っ込み位置と伸長位置との間を移動可能な筆記要素とを有し、

アクチュエータ部材は、前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間を非直線経路に沿って移動し、

前記筆記要素が前記アクチュエータ部材に回動自在に結合され、

前記筆記要素は、前記アクチュエータが前記第 1 の位置にあるとき、前記引っ込み位置にあり、

前記筆記要素は、前記アクチュエータが前記第 2 の位置にあるとき、前記伸張位置にある、

筆記具。